

さつきた★

ボランティア通信

2020年12月号
Vol.7

発行
札幌市北区ボランティア
活動センター

キラリと光る活動団体に助成金！ご活用ください

先進的で独自性のある福祉活動を行っている民間団体を応援する「さっぽろキラリ☆応援助成金」の募集をしています。赤い羽根共同募金への寄付金を財源としたものです。締め切りは12月25日消印有効です。

☆**助成の対象団体**：札幌市内に所在し活動する団体で（法人格の有無は問わない）、設立1年以上経過し、現在も活動継続中の団体 ☆**助成の対象事業**：住民参加により行われる地域生活の支援に関する事業や、地域における福祉的課題解決に向けた事業で、本助成によって新たに取るもの、または既存の事業でも助成の活用でその一部が新たな取り組みとなるもの、または拡大、充実が見込まれるもの ☆**助成対象事業の活動期間**：令和3年6月1日～令和4年3月31日の間に行われる事業 ☆**助成の分野** ①高齢者支援 ②障がい児（者）支援③児童・子育て支援 ④地域福祉（住民全般） ☆**助成額及び助成期間**：1団体10万円まで、単年度の助成（総額100万円を予定） ☆**提出書類**：所定の応募用紙、収支内訳書、規約・会則・定款、事業計画・収支予算書（令和2年度）、事業報告・収支決算書（令和元年度）、活動内容がわかるパンフレット等。正副各1部必要です。

*応募先・問い合わせ先は**札幌市共同募金委員会**

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 札幌市社会福祉総合センター3階

☎011-614-3532 fax011-614-1109

【札幌市北区ボランティア活動センター】

お手伝いを探している方と手を貸せる方を結びつける役割を果たしているのが当センターです。どうぞお気軽にお問い合わせください。

〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目1-1 北区役所1階
社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会内

【相談時間】8:45～17:15（土日祝日、年末年始除く）

【TEL】011-757-2482 【FAX】011-737-7270

【HP】<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/kita-shakyo/>



あなたの街の ボランティア訪問！

手作り弁当を子どもたちへ

～コロナ禍にもめげず…～

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、ボランティア活動は縮小するばかりですが、手洗いやマスク着用などの感染対策を徹底しながら活動を継続しているところがあります。前号でボランティアを募集した「麻生キッチンりあん」の子ども食堂もその一つ。コロナ禍で温かい食事をみんなで囲むのは難しくなったため、来春までお弁当の提供に切り替え、子供たちの胃袋を満たします。

「麻生キッチンりあん」は、麻生商店街振興組合が運営しており、2016年ごろから地域住民の手で地域の子どもに夕ご飯を提供するようになりました。

訪問した11月20日は新しく入った2人の女性ボランティアを含む6人の女性が、56食の弁当作りに汗を流していました。厨房内では野菜やソーセージ



厨房内で手際よく食材をカット



ぎょうざの皮でポテトを手早く包む

を刻む人、厨房の外ではポテトを丸めてぎょうざの皮に包む人…。役割を分担して皆さん手際よく作業を進めます。

ボランティアの募集段階では「調理したものを盛り付ける」という活動内容でした。ところが急きょお弁当に変わったため、「調理」も加わりました。新人ボランティアの方々は「大量の調理をしたことがない」とみな不安顔でしたが、いざ活動の感想をうかがうと「教えられるままに手を動かしているので大丈夫だった。和気あいあい楽しい」「こんなに大人数の食

事を作るのは初めて。とても楽しい」と声を弾ませます。先輩ボランティアは「食堂のときは子どもがおかわりしてくれるの。とてもかわいくて、つい大盛りになってしまう」。子どもたちとの小さなふれあいが意欲的な活動につながっているようですね。



百合が原の農家さんから提供された玉ねぎ

本日のメニュー
中華丼
ミネストローネ
なんちゃってポテトパイ
果物

ありがとうございます

麻生子ども食堂のボランティア募集に多数のご応募をいただきまして、ありがとうございます。コロナ禍でボランティア活動が少ないせいか、すぐに反応がありました。今後も、感染対策に万全をつくして活動を行っている事例を紹介できればと思います。

